

資料6

素材生産動向（概要） — 平成28年5月見直し —

平成28年5月23日
北海道森林管理局
(担当：資源活用第一課)

調査対象事業体数

	事業体数 (A)	調査対象数 (B)	回答数 (C)	回答率 (C)/(B)	該当する(総合)振興局
全道	515	272	224	82%	
札幌地区	105	50	48	96%	石狩、空知、胆振、日高
旭川地区	114	63	51	81%	上川、留萌、宗谷
北見地区	91	58	44	76%	オホーツク
帯広地区	137	55	39	71%	十勝、釧路、根室
函館地区	68	46	42	91%	渡島、檜山、後志

(注) 事業体数(A)は、北海道林業事業体登録制度に基づき登録された林業事業体のうち、素材生産事業を実施している者。調査対象数(B)は、アンケート調査の結果により実質的に素材生産事業を行っていない者を除いた数。

【5月の素材生産動向（概要）に対するコメント】

- ・「1.素材生産量」では、前月と比べ1.1千m³の増加となっています。地区別では札幌、帯広では増加し、旭川、北見、函館では減少しています。
- ・「2.素材生産量の増減」の比率では「増えた」が31%、「変わらない」が40%、「減った」が29%となっています。
- ・「3.素材生産動向」の全般的な動きでは、「順調」が23%、「並み」が65%、「不調」が12%となっており、前月に比較して「順調」が6ポイント減っています。地区別では、旭川では「順調」へ、北見、函館では「やや不調」へ、札幌、帯広では変化が少ない傾向となっています。
- ・樹種別に見ると原材料は「順調」、一般材は「並」の傾向となっています。
- ・「4.素材生産動向の事由」は、「通常の変動」以外では、増の事由として「丸太注分の増加」、減の事由として「天候不順」と前月同様の傾向となっています。

1. 素材生産量

(単位：千m³)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
素材生産量	193.5	194.6	1.1	41.1	52.8	11.7	27.6	24.3	-3.3	68.6	60.3	-8.3	30.4	37.4	7.0	25.8	19.8	-6.0

2. 素材生産量の増減

(単位：%)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
増えた	26	31	5	28	31	3	27	31	4	37	30	-7	10	41	31	29	22	-7
変わらない	30	40	10	28	48	20	35	41	6	24	23	-1	23	41	18	38	45	7
減った	44	29	-15	44	21	-23	38	28	-10	39	47	8	67	18	-49	33	33	0

(注) 調査回答のあった事業体のうち、前月との比較が可能な事業体の構成比

3. 素材生産動向

(1) 全般

(単位：%)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
極めて順調	6	4	-2	9	6	-3	3	6	3	6	3	-3	5	0	-5	7	4	-3
やや順調	23	19	-4	21	22	1	11	17	6	35	23	-12	14	19	5	30	12	-18
並み	59	65	6	52	58	6	72	66	-6	53	62	9	71	77	6	48	65	17
やや不調	9	11	2	12	14	2	11	8	-3	3	12	9	10	4	-6	11	19	8
極めて不調	3	1	-2	6	0	-6	3	3	0	3	0	-3	0	0	0	4	0	-4

(注) 各区分に回答した事業体の構成比

(2) 樹材種

(単位：回答数)

区分	全道						札幌地区						旭川地区					
	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材
極めて順調	7	5	2	8	8	4	2	2	0	3	3	1	1	1	1	2	1	1
やや順調	27	15	10	20	17	18	6	6	4	4	5	5	6	1	2	3	2	2
並み	59	59	35	49	54	51	12	11	8	13	12	14	11	14	9	8	13	11
やや不調	10	14	10	9	9	13	4	5	4	4	4	7	0	3	1	1	3	1
極めて不調	1	0	4	2	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1

(単位：回答数)

区分	北見地区						帯広地区						函館地区					
	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材
極めて順調	2	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2	1
やや順調	7	5	3	7	4	5	6	1	0	4	3	4	2	2	1	2	3	2
並み	16	14	8	10	12	8	12	10	6	13	9	10	8	10	4	5	8	8
やや不調	3	2	3	2	1	3	1	1	2	1	0	1	2	3	0	1	1	1
極めて不調	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0

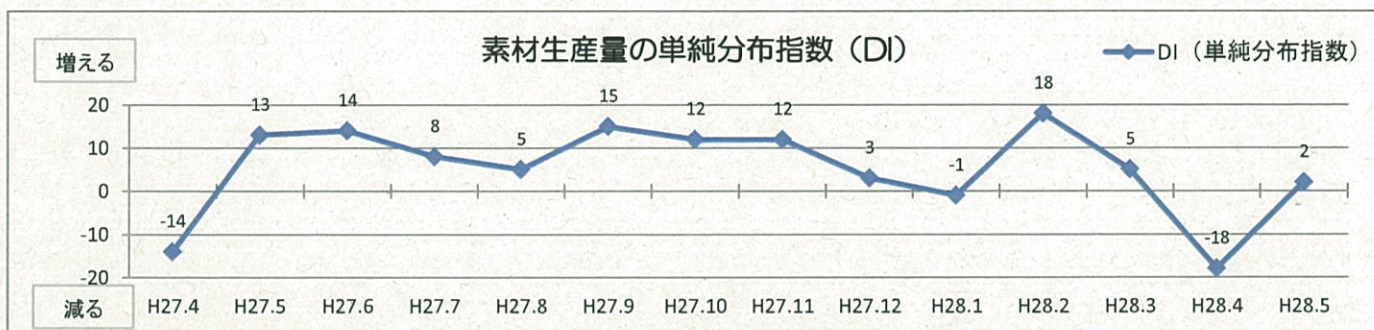
(注) 該当するものについて複数回答

4. 素材生産動向の事由

(単位：回答数)

	丸太注文の増加	時間外など稼働率向上	体制充実	生産性向上	通常の変動	その他		
数量の増	9	0	1	5	49	0		
	丸太注文の減少	事業地不足	労働力不足	運材車不足	機械の故障等不測の事態	天候不順	通常の変動	その他
数量の減	4	4	7	6	2	9	30	0

(参考)



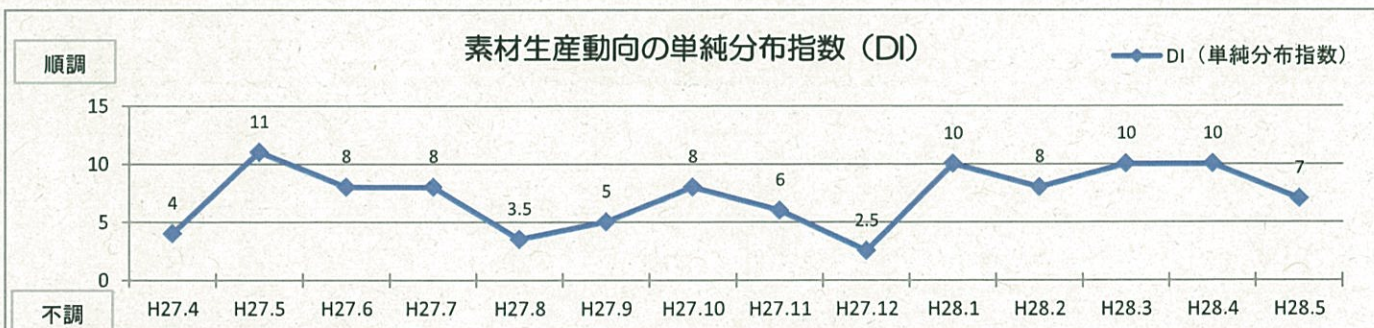
アンケート調査の回答においてプラス（増えた）の選択肢とマイナス（減った）の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

平成28年5月

区分	有効回答数	構成百分率
増えた	69	31%
変わらない	89	40%
減った	66	29%
合計	224	100%

素材生産量の単純分布指数 (DI)
 $= (31\%) - (29\%)$

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数



※「素材生産動向の単純分布指数 (DI)」とは

アンケート調査の回答においてプラス（極めて順調、やや順調）の選択肢とマイナス（やや不調、極めて不調）の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

平成28年5月

区分	有効回答数	構成百分率
極めて順調	6	4%
やや順調	30	19%
変わらない	102	65%
やや不調	18	11%
極めて不調	1	1%
合計	157	100%

素材生産動向の単純分布指数 (DI)
 $= \{ ((4\% \times 2) + (19\%)) - ((11\% + (1\% \times 2))) \} \div 2$